

日本植物分類学会第15回大会 (2016. 3. 6~8. 富山)

事前配布プログラム・改訂版

日程概要

3月5日(土)	14:00	編集委員会 [理学部2号館 B136 教室]
	15:00	富山県中央植物園見学会 (事前申込者オプション)
	16:00	評議員会 [理学部2号館 B136 教室]
3月6日(日)	8:30	受付開始
	9:00	口頭発表 (大会発表賞エントリー者) 12題
	13:00	ポスターセッション (コアタイム)
		大会発表賞エントリー者 28題 [黒田講堂]
		一般 44題 [災害対策プラザ]
	14:30	公開シンポジウム
		「富山県の植物自然史研究—どんな植物が発見され、何がわかってきたか」
3月7日(月)	8:30	受付開始
	9:00	口頭発表 (大会発表賞エントリー者) 12題
	12:00	発表賞選考委員会 [共通教育棟 A11 教室]
	13:00	口頭発表 (一般) 6題
	14:45	学会賞授与式
	15:00	受賞記念講演
	17:00	総会
	18:30	懇親会 [ホテルグランテラス富山]
3月8日(火)	8:30	受付開始
	9:00	口頭発表 (一般) 12題
	13:00	口頭発表 (一般) 6題
3月9日(水)	9:00	富山市科学博物館標本庫 (TOYA) 閲覧 (事前申込者オプション)

口頭発表時間割詳細

(*は発表者、☆は大会発表賞エントリー、▼は求職中)

3月6日(日)

【座長 黒沢高秀】

- 9:00-9:15 1a01^{*} *荻嶋美帆¹・堂圃いくみ²・星野佑介³・山城 考⁴・堀江佐知子¹・牧 雅之⁵
(¹東北大・院・生命科学; ²学芸大・教育・生物; ³首都大・院・理工・牧野標本館; ⁴徳島大・院・SAS 研究部; ⁵東北大・植物園) タカクマヒキオコシとサンインヒキオコシの交雑帯における遺伝的・形態的変異の解析
- 9:15-9:30 1a02^{*} *喜屋武隆太¹・山城 考²・藤井伸二³・阪口翔太⁴・伊藤元己⁵・永野 惇⁶・工藤洋⁷・牧 雅之⁸ (¹東北大・院・生命; ²徳島大・SAS 研究部; ³人間環境大・人間環境; ⁴京大・院・人環; ⁵東大・総合文化; ⁶龍谷大・農; ⁷京大・生態研セ; ⁸東北大・植物園) 溪流沿い植物アオヤギバナの起源に関する系統地理学的研究
- 9:30-9:45 1a03^{*} *高石あすか・副島頭子 (熊本大・院・自然科学) オキナグサの遺伝的構造解析と満鮮要素の分布変遷についての考察
- 9:45-10:00 1a04^{*} *齋藤雄介¹・藤井伸二²・牧 雅之³ (¹東北大・院・生命科学; ²人間環境大・人間環境; ³東北大・植物園) 日本と韓国におけるツリフネソウの地理的遺伝分化

【座長 牧 雅之】

- 10:00-10:15 1a05^{*} *江口悟史¹・布施静香¹・手塚あゆみ²・永野 淳²・田村 実¹ (¹京大・院・理; ²龍谷大・農) RADseq データと分岐年代推定が解き明かすチゴユリ属 (イヌサフラン科) の進化史
- 10:15-10:30 1a06^{*} *堀 清鷹¹・奥山雄大²・海老原 淳²・綿野泰行³・村上哲明¹ (¹首都大・牧野; ²科博・植物; ³千葉大・理) 複数の核マーカーを用いたイタチシダ類の分子分類
- 10:30-10:45 1a07^{*} *▼今井亮介¹・松本 定²・海老原 淳²・津田吉晃³・手塚 あゆみ⁴・永野 惇^{4,5,6}・綿野泰行¹ (¹千葉大・理; ²科博・植物; ³筑波大・生命; ⁴龍谷大・農; ⁵JST さきがけ; ⁶京大・生態) ヒメオニヤブソテツとムニンオニヤブソテツの RAD シーケンスを用いた系統学的研究

10:45-11:00 1a08[☆] *▼山田香菜子・角川(谷田辺)洋子・堀 清鷹・村上哲明(首都大・牧野) 人工交配実験により明らかになった日本産ヤエヤマオオタニワタリ(チャセンシダ科)の非対称な交雑可能性

【座長 村上哲明】

11:00-11:15 1a09[☆] *山下由美¹・佐藤晃平²・佐藤なつき²・黒沢高秀²・兼子伸吾²(¹福島大・院・共生システム理工;²福島大・共生システム理工) 絶滅危惧植物クマガイソウ *Cypripedium japonicum* Thunb. (ラン科) の日本における生育状況と葉緑体DNAの遺伝的多様性

11:15-11:30 1a10[☆] *梅本巴菜^{1,2}・Chih-Chieh Yu³・Qin-er Yang⁴・中村 剛⁵・横田昌嗣⁶・國府方吾郎²(¹茨大・院・農;²科博・植物;³National Taiwan University;⁴South China Botanic Garden;⁵北大・植物園;⁶琉大・理) ヒメサギゴケ(ハエドクソウ科)における分子系統解析と形態比較による分類学的再検討

11:30-11:45 1a11[☆] *若林智美¹・Stig Andersen²・佐藤修正³・川口正代司⁴・瀬戸口浩彰¹(¹京大・院・人環;²Department of Molecular Biology and Genetics, Aarhus University;³東北大・院・生命;⁴基生研・共生) 全ゲノム配列を用いた、ミヤコグサの開花所要日数の種内多型に関わる候補遺伝子の探索

11:45-12:00 1a12[☆] *伊津野彩子¹・北山兼弘¹・小野田雄介¹・辻井悠希¹・畠山剛臣²・永野 惇³・本庄三恵⁴・清水・稲継理恵²・工藤 洋⁴・清水健太郎²・井鷲裕司¹(¹京大・院・農;²チューリッヒ大;³龍谷大・農;⁴京大・生態研) ハワイフトモモの環境適応における遺伝的基盤のゲノムワイド解析

12:00-13:00 <昼休み> *弁当を注文した方には11時以降、受け付けでお渡しします。

13:00-14:20 **ポスターセッション・コアタイム** *発表者はポスター前で待機して下さい。
発表賞エントリー 28題 【黒田講堂ロビー】
一般 44題 【災害対策プラザ2階】

14:20-14:30 <休憩>

公開シンポジウム

「富山県の植物自然史研究—どんな植物が発見され、何がわかってきたか—」

14:30-14:35 中田政司(富山県中央植物園) シンポジウム開催のご挨拶

14:35-15:05 佐藤 卓(日本海植物研究所) 富山で発見された植物

15:05-15:35 太田道人(富山市科学博物館) 富山の自然環境要素と植物相

15:35-15:45 <休憩>

15:45-16:15 岩坪美兼(富山大学大学院理工学研究部) 染色体から見てきた富山の植物の多様性

16:15-16:45 大原隆明(富山県中央植物園) 富山県植物誌改訂版編集委員会の活動から

16:45-17:00 意見交換



大会メイン会場 富山大学黒田講堂

3月7日(月)

【座長 菅原 敬】

9:00-9:15 2a01[☆] *亀岡慎一郎¹・崎尾 均²・阿部晴恵²・大橋一晴³・村井良徳⁴・岩科 司⁴・瀬戸口浩彰¹ (1京大・院・人環; 2新潟大・農; 3筑波大・生命環境; 4科博・植物) ミスミソウの色素成分と、訪花昆虫の色覚との関係

9:15-9:30 2a02[☆] *上原 歩^{1,3}・菅原孝太郎²・山垣 亮²・岩科 司³ (1慶應大・日吉化学; 2サントリー生命科学・構造生命科学; 3科博・植物) イメージングマスで観る、キク属植物の乾燥時に蓄積するフラボノイド

9:30-9:45 2a03[☆] *山路風太・綿野泰行・朝川毅守 (千葉大・理) キツネノカミソリ変種間における花形質と送粉者との関係

9:45-10:00 2a04[☆] *中嶋玲菜・加藤英寿・村上哲明 (首都大・牧野) サクユリの花香と送粉昆虫相の日内変化

【座長 國府方吾郎】

10:00-10:15 2a05[☆] *星野佑介¹・高相徳志郎²・渡邊謙太³・菅原 敬¹ (1首都大・院・牧野; 2琉球大・熱生研; 3沖縄工専) 西表島に産するハテルマギリ (アカネ科) の二型花柱性とその繁殖特性

10:15-10:30 2a06[☆] *高橋大樹¹・寺峰 孜²・阪口翔太³・瀬戸口浩彰³ (1京大・総合人間学部; 2高知県高知市; 3京大・人間・環境) 萼裂片長の著しい勾配を示すカンアオイ属サカワサイシン節の進化史

10:30-10:45 2a07[☆] *▼井上侑哉・坪田博美 (広島大・院・理・生物科学) 日本産ツチノウエノタマゴケ *Weissia longifolia* Mitt.の実体

10:45-11:00 2a08[☆] *吉村 彩¹・堀 清鷹¹・村上哲明¹・佐藤博俊² (1首都大・牧野; 2京大・生態研セ) キチタケ (ベニタケ科) における分子情報に基づく隠蔽種の認識

【座長 綿野泰行】

11:00-11:15 2a09[☆] *▼高橋紀之¹・西田倫希²・齊藤知恵子¹・保田英洋²・野崎久義¹ (1東大・院・理・生科; 2阪大・超高压電顕セ) 超高压電顕が明らかにした原始的な一次植物の外被立体微細構造

11:15-11:30 2a10[☆] *▼早川宗志¹・濱地秀徳²・小沼明弘¹・横山 潤³・福田達哉² (1農環研; 2高知大・農; 3山形大・理) 四国におけるテンナンショウ属植物の雑種形成と形態的多様性

11:30-11:45 2a11[☆] *伊東拓朗¹・游 旨价²・鍾 國芳²・國府方吾郎³ (1東農工・連農; 2台大・森林資源; 3科博・植物) 台湾におけるマンネングサ属の適応放散はなぜ起きたのか

11:45-12:00 2a12[☆] *平澤優輝¹・港 翼²・志賀 隆² (1新大・院・教育; 2新大・教育) 標本作製・保存方法による種子生存率の経年変化

12:00-13:00 <昼休み>

12:00-13:00 発表賞選考委員会[共通教育棟 A11 教室]

【座長 加藤雅啓】

13:00-13:15 2p01 *大橋広好 (東北大・植物園津田記念館) 植物学用語 peduncle, pedicel の日本語用語

13:15-13:30 2p02 *大森威宏 (群馬自然史博) 群馬県立自然史博物館収蔵標本からみた群馬県平野部の植物の絶滅史

13:30-13:45 2p03 *瀬戸口浩彰¹・東 広之¹・服部千恵¹・野添翔吾¹・伊藤元己²・平塚健一³・肉戸裕之³・長澤淳一³ (1京大・人環; 2東大・総合文化; 3京都府立植物園) 絶滅危惧植物の遺伝的多様性の評価と域外保全ネットワークの形成、および野生復帰について

【座長 田中伸幸】

13:45-14:00 2p04 *池田 啓¹・Pernille Bronken Eidesen²・Viachenslav Barkalov³・Valentin Yakubov³・Christian Brochmann⁴・瀬戸口浩彰⁵ (1岡山大・植物研; 2スヴァールバル大学センター; 3ロシア科学アカデミー; 4オスロ大; 5京大・人環) 核遺伝子の塩基配列に基づく周北極-高山植物の系統地理

14:00-14:15 2p05 *▼田金秀一郎・矢原徹一 (九大・理・生態) トランセクト調査を用いた東南アジアの植物多様性インベントリー

14:15-14:30 2p06 *馬場由実子¹・藤川和美¹・立石庸一²・小山鐵夫^{1,3}・Win Naing Thaw⁴ (1高知牧野植物園; 2琉球大; 3The Bernice Pauahi Bishop Museum, Hawaii, USA; 4Ministry of Environmental Conservation and Forestry, Myanmar) ミャンマー・チン州ナマタン国立公園植物多様性研究の新知見

14:30-14:45 <休憩>

学会賞授与式・記念講演・総会

14:45-15:00 学会賞授与式

【司会 中田政司】

15:00-15:25 学会賞受賞記念講演 1 柏谷博之（科博・名誉研究員）私の地衣学～楽しい道連れ～

15:25-15:50 学会賞受賞記念講演 2 古池 博（石川県自然史センター）石川県地方における地域植物学の形成

15:50-16:00 <休憩>

【司会 坪田博美】

16:00-16:25 奨励賞受賞記念講演 1 ▼片桐知之（広島大・院・理）コケ植物タイ類の研究とムクムクゴケ科の分類

16:25-16:50 奨励賞受賞記念講演 2 ▼佐藤博俊（京大・生態研セ）共生関係から外生菌根菌の多様性・生物地理・進化を解明する

16:50-17:00 <休憩>

17:00-18:00 総会

18:00-18:30 <移動>

18:30-20:30 懇親会 [ホテルグランテラス富山]

富山大学五福キャンパス案内図



3月8日(火)

【座長 樋口正信】

9:00-9:15 3a01 *保坂健太郎(科博・植物) **きのこの絶滅危惧種の実体を把握する**

9:15-9:30 3a02 *野崎久義¹・井坂奈々子¹・西郷永希子¹・山本荷葉子¹・▼松崎 令¹・高橋文雄²
(¹東大・理・生物;²立命館大・生命・生物工学) **日本の湖沼に生育するボルボックス節の1種について**

9:30-9:45 3a03 *秋山弘之(兵庫県博) **東アジア産コモチイトゴケ科(蘚類)の分類学的再検討**

9:45-10:00 3a04 *松本 定(科博・植物) **オオバノイノモトソウ園芸品種類の正体**

【座長 海老原 淳】

10:00-10:15 3a05 *末次健司(神大・院・理) **菌従属栄養性ラン科植物の種子散布**

10:15-10:30 3a06 *高野温子¹・西田佐知子² (¹兵庫県博;²名大・博) **アキノタムラソウとナツノタムラソウの種間交雑と繁殖干渉**

10:30-10:45 3a07 吉崎雄宏¹・高倉耕一²・*西田佐知子³・西田隆義¹ (¹滋賀県大・環境生態;²滋賀県大・生物資源;³名大・博) **センダングサ属の分布変遷を繁殖干渉と資源競争から検討する**

10:45-11:00 3a08 *高橋和規¹・Garret D. Ruiz² (¹森林総研・関西;²UPLB-JIRCAS) **トウダイグサ科オオバギの形態変異と繁殖特性—ルソン島中部と北部個体群の比較—**

【座長 西田佐知子】

11:00-11:15 3a09 上西真由¹・小藤墨美子¹・堤 千絵²・海老原 淳²・*山田敏弘¹ (¹金沢大・理工・自然システム;²科博・植物) **温度がゼンマイ属植物の生殖的隔離に与える影響の解析**

11:15-11:30 3a10 *加藤雅啓¹・平山由美子¹・厚井 聡² (¹科博・植物;²大阪市大・植物園) **ラオスの変なカワゴケソウ一種の系統と形態**

11:30-11:45 3a11 *田中伸幸¹・Ching-I Peng² (¹科博・植物;²台湾中央研究院) **ミャンマー産シユウカイドウ科の新種 *Begonia togashii* について**

11:45-12:00 3a12 *森本苑良¹・渡邊幹男²・伊藤元己³・芹沢俊介⁴ (¹愛教大・院;²愛教大・生物;³東大・院・総合文化;⁴愛知みどりの会) **低地性2倍体ニガナ類の系統と分類**

12:00-13:00 <昼休み>

【座長 山田敏弘】

13:00-13:15 3p01 *織田二郎・東 浩司(京大・院・理・植) **日本産ネコノメソウ属 *Pilosa* 列の分子系統—特にシロバナネコノメソウ種内分類群の関係について—**

13:15-13:30 3p02 *村山香織¹・藤井紀行¹・Richard H. Ree²・彭 鏡毅³・鍾 國芳⁴・游 旨价⁴
(¹熊本大・院・自然科学;²Department of Botany, Field Museum of Natural History, Chicago;³台湾中研院・多様性中心;⁴台湾大・森林資源) **台湾におけるタカネシオガマ列植物の系統分類学的研究**

13:30-13:45 3p03 *▼HAN Qingxiang・瀬戸口浩彰(京大・人環) **Lineage isolation in the face of active gene flow in the coastal plant wild radish is reinforced by differentiated vernalisation responses**

13:45-14:00 3p04 *中村 剛¹・Gisela Sancho²・國府方吾郎³・Paul Forster⁴・傳田哲郎⁵・横田昌嗣⁵・Steve Wagstaff⁶ (¹北大・植物園;²Museo de La Plata, Argentina;³科博・植物;⁴Queensland Herbarium, Australia;⁵琉球大・理;⁶Landcare Research, New Zealand) **西太平洋地域と南米に分布する広義コケセンボンギク属(キク科)の系統分類と生物地理**

【座長 藤井紀行】

14:00-14:15 3p05 *▼岩崎貴也¹・荒木希和子²・永野 惇^{1,3,4}・Renat Sabirov⁵・Karol Marhold⁶・Valentin Yakubov⁷・Jae-Hong Pak⁸・伊藤元己⁹・工藤 洋¹ (¹京大・生態研;²立命館大・生命科学;³龍谷大・農;⁴JST さきがけ;⁵Russian Academy of Science;⁶Slovak Academy of Science, Charles Univ.;⁷Far East Branch of the Russia Academy of Sciences;⁸Kyung-Pook National Univ.;⁹東大・総合文化) **ゲノムワイド SNP による地域的な遺伝構造と局所適応パターンの解明: コンロンソウを例に**

14:15-14:30 3p06 *吉川ひとみ¹・荒金眞佐子²・窪田 聡¹・杉田律子¹ (¹科警研;²東京都健康安全研究センター) **LAMP 法を用いたパイケイソウ (*Veratrum album* subsp. *oxysepalum*) 類の迅速識別法の開発**

ポスター発表一覧

コアタイム 3月6日(日) 13:00-14:20 発表者はポスター前に待機して下さい。

発表賞エントリー [黒田講堂ロビー]

- P01[☆] *升本 宙・出川洋介(筑波大・菅平) 地衣内生菌の分離方法についての検討
- P02[☆] *大田峻真¹・堀 清鷹¹・村上哲明¹・佐藤博俊² (1首都大・牧野; 2京大・生態研セ) ニガクリタケにおける分子解析に基づく隠蔽種の認識
- P03[☆] *▼松崎 令¹・豊岡博子¹・原 慶明²・野崎久義¹ (1東大・理・生物; 2山形大・理・生物) 培養株とフィールドサンプルを結合した氷雪性緑藻類クロロモナスの種分類学的研究
- P04[☆] *▼片桐知之(広島大・院・理学) 日本最古のコケ植物 オオイシゴケ *Hepaticites oishii* の実体
- P05[☆] *小松美晴¹・鈴木 武²・綿野泰行³ (1千葉大・理; 2兵庫県博; 3千葉大・院・理) 日本におけるアカウキクサ属 (*Azolla*) の多様性と系統
- P06[☆] *藤原泰央・綿野泰行 (千葉大・院・理) 日本産ノキシノブ *Lepisorus thunbergianus* (ウラボシ科) における系統解析及び4倍体ノキシノブの起原について
- P07[☆] *VASQUES Diego Tavares (東京大・院・総合文化) **Delimitation of cryptic species within the *Hymenophyllum polyanthos* (Sw.) Sw. (Hymenophyllaceae) species complex**
- P08[☆] *猪瀬礼璃菜¹・黒沢高秀²・兼子伸吾² (1福島大・院・理工; 2福島大・理工) シダ植物標本における *trnH-psbA* 遺伝子間領域の PCR 成功率および種内変異
- P09[☆] *▼須貝杏子・鈴木節子 (森林総研) 小笠原群島におけるパイオニア種アコウザンショウの遺伝構造と種苗配布区域の設定
- P10[☆] *▼辻村美鶴 (首都大・牧野) 外来種による小笠原在来植物の送粉系攪乱
- P11[☆] *▼新村芳美¹・梶田 忠² (1千葉大・院・理; 2琉球大・熱生研) オシロイバナ属オシロイバナ節におけるポリネーターシフトと花形質の多様化
- P12[☆] *三嶋ひとみ¹・土松隆志²・伊藤元己¹ (1東大・総合文化; 2千葉大・理) ゲンノショウコ(フウロソウ科) にみられる花色多型の遺伝的・系統的背景
- P13[☆] *早坂俊亮¹・菊地 諒²・牧 雅之³ (1東北大・院・生命; 2佐渡市役所; 3東北大・植物園) 山地性大型草本コバイケイソウの国内における遺伝的分化と遺伝的多様性
- P14[☆] *▼山本将也¹・大谷雅人²・倉田薫子³・瀬戸口浩彰¹ (1京大・院・人環; 2兵庫県立人と自然の博物館; 3横国大・教育) サクラソウ属コイワザクラ節 (*Sect. Reinii*) の系統と生物地理
- P15[☆] *小林美雨¹・厨子雅人²・光田重幸²・Hyeok Jae Choi³・志賀 隆¹ (1新潟大・教育; 2同志社大・理工; 3Changwon National Univ.) 絶滅危惧水生植物オグラコウホネの系統地理学的研究
- P16[☆] *穂園哲郎¹・柴田将吾¹・長野克也²・藤吉正明³・稲葉一文⁴・内山 寛⁵・的場英行¹ (1東海大・経営; 2東海大・農; 3東海大・教養; 4熊本県博物館ネットワークセンター; 5日大・応用生物) 絶滅危惧種ハナシノブ *Polemonium kiushianum* の新規個体群の発見と交雑性の調査
- P17[☆] *中井崇善・大津浩三・林 蘇娟(島根大・生資) 絶滅危惧種オニヒョウタンボク (*Lonicera vidalii*) の倍数性と遺伝的多型
- P18[☆] *▼福田知子¹・O.A. Chernyagina²・I.G. Bobyr³・A.A.Taran⁴・V.M. Okrugin⁵・池田 博⁶ (1東大・総文; 2太平洋地理研; 3国後保護区; 4サハリン植物園; 5火山研; 6東大・総博) ユキノシタ科チシマイワブキ属 *Rotundifoliae* 亜節の系統と染色体数
- P19[☆] *首藤光太郎¹・末次健司²・兼子伸吾³・黒沢高秀³ (1福島大・院・理工; 2神戸大・院・理・生物; 3福島大・理工) 菌従属栄養性の進化に伴う微妙に異なった形態変化—イチヤクソウ属の2系統を対象にした標本調査による検討—
- P20[☆] *横田剛成¹・Hang Sun²・邑田 仁³・岩元明敏¹ (1東京学芸大・自然・生命; 2昆明植物研究所; 3東大・院・理・植物園) 広義サクラ属 (*Prunus s.l.*) における頂芽形成およびピジウム属 (*Pygeum*) のシュート構成に関する形態学的研究
- P21[☆] *番場 大¹・中田さゆり¹・青木誠士郎²・高山浩二³・J・N・Farfan⁴・宮 正樹⁵・伊藤元己²・梶田 忠⁶ (1千葉大・院・理; 2東大・院・総合文化; 3ふじのくに地球環境史ミュージアム; 4UNAM Institute de Ecologia; 5千葉県博; 6琉球大・熱生研・西表) 汎熱帯海流散布マメ科植物に共生する根粒菌の広域分布について
- P22[☆] *山本 崇¹・津田吉晃²・高山浩司³・永嶋礼子¹・立石庸一⁴・梶田 忠⁵ (1千葉大・院・理; 2筑波大・菅平セ; 3ふじのくに地球環境史ミュージアム; 4琉球大・教育; 5琉球大・熱生研・西表) 汎熱帯海流散布植物ハマアズキを用いた太平洋内の「見えない障壁」の探索
- P23[☆] *▼大槻達郎¹・森 泉²・且原泰真木²・瀬戸口浩彰³ (1田辺高校; 2岡大・資植物研; 3京大・人環) 海浜植物ハマエンドウのエコタイプ間に見られる環境応答能力の違い
- P24[☆] *加藤紗織¹・根本秀一¹・山下由美¹・黒沢高秀² (1福島大・院・共生システム理工; 2福島大・共生システム理工) オゼノサウトンボとヒメミズトンボ(ラン科) の分布と形態
- P25[☆] *根本秀一¹・吉岡榮一²・黒沢高秀³・加藤紗織¹・兼子伸吾³ (1福島大・院・共生システム理工; 2福島県いわき市; 3福島大・共生システム理工) 福島県で60年ぶりに確認されたハマベ

- ンケイソウ（ムラサキ科）の由来を探る
- P26☆ *渡邊祐紀¹・齋藤若菜²・黒沢高秀³（¹福島大・院・理工；²福島県郡山市；³福島大・理工）
福島県北部の海岸に生物の保全のために設けられた保護区の植物相と植生
- P27☆ *▼山口昌子¹・首藤光太郎²・黒沢高秀¹（¹福島大・理工；²福島大・院・理工） 磐梯朝日国立公園内の自然との調和を目指した別荘地の植物相
- P28☆ *田中啓介¹・大竹留未¹・吉田沙樹²・篠原 卓²（¹東京農大・生物資源ゲノム解析セ；²東京農大・短期大学部）ライブラリー濃縮技術と MiSeq を利用した高出力・低コストなマイクロサテライト領域検出方法の開発

一般 【災害対策プラザ2階】

- P29 *大村嘉人¹・Andreas Frisch²・James C. Lendemer³・中西 稔⁴（¹国立科博；²スウェーデン農科大学；³ニューヨーク植物園；⁴広島大学）伊豆諸島御蔵島の地衣類
- P30 *Kwang Hee MOON¹・Chorong AHN¹・Jeong Eun HAN¹・Hiroyuki KASHIWADANI²（¹Nat. Inst. Biol. Resources, Incheon；²Nat. Mus. Natur. Sci., Tokyo）Two New species of *Ramalina* (Ascomycotina: Ramalinaceae) from Korea
- P31 Chorong AHN and *Kwang Hee MOON (Nat. Inst. Biol. Resources, Incheon) *Parmotrema clavuliferum* and *P. reticulatum* are independent species
- P32 *樋口正信(科博・植物) 中国横断山脈のコケ植物相の研究 2. キヌシッポゴケ属
- P33 *海老原 淳¹・村上哲明²・濱崎恭美¹・保谷彰彦¹（¹科博・植物；²首都大・牧野標本館）アジアにおけるシダ植物のホットスポット地図作成
- P34 藤川和美¹・馬場由実子^{1*}・池田 博²・Ling Shein Mang³・Law Shine³（¹高知県立牧野植物園；²東大・博物館；³ミャンマー環境保全林業省）ミャンマーナマタン国立公園のキク科植物に関する新知見
- P35 *東浩司（京都大・院・理・植）対馬に生育する希少植物アレチアザミの過去の分布記録と現状および近年神奈川県で出現したアレチアザミとの系統関係について
- P36 *渡邊幹男¹・畔柳佳奈¹・南谷明穂¹・芹沢俊介²（¹愛知教育大・生物；²愛知みどりの会）ワタムキアザミの地理的変異と分類
- P37 *森重剛志¹・渡辺洋一¹・伊藤元己²・上原浩一¹（¹千葉大・院・園芸；²東京大・院・教養）日本で多様化したアザミ属の系統関係の推定
- P38 *阪口翔太¹・永野 惇^{2,3,4}・本庄三恵³・工藤 洋³・伊藤元己⁵（¹京大院・人環；²龍谷大・農；³京大・生態研；⁴JST・さきがけ；⁵東大・総合文化）屋久島ミニチュア植物・イッスンキンカの系統的起源と遺伝的多様性
- P39 *鈴木 武¹・木村 進²・狩山俊悟³・小川 誠⁴・布谷知夫⁵（¹兵庫県博；²大阪自然環境保全協会；³倉敷市立自然史博；⁴徳島県博；⁵三重県博）タンポポ調査・西日本 2015 について
- P40 *中村凌太¹・常木静河¹・芹沢俊介²（¹愛知教育大・生物；²愛知みどりの会）滋賀県における低地性 2 倍体タンポポの形態の地理的変異
- P41 *矢野興一¹・田村優希¹・西俣美咲¹・金 孝鋒²・池田 博³（¹岡山理大・生物地球；²中国・杭州師範大；³東大・博物館）東アジア産スゲ属タガネソウ節の系統分類学的研究
- P42 *西俣美咲¹・矢野興一¹・高山浩司²・山本伸子³・岩坪美兼⁴・任 炯卓⁵・池田 博⁶（¹岡山理大・生物地球；²ふじのくに地球環境史ミュージアム；³千葉県立博物館；⁴富山大；⁵韓国・全南大；⁶東大・博物館）オミナエシ科オトコエシ種内倍数体の系統地理学的研究
- P43 *▼青木京子¹・瀬尾明弘²・手塚あゆみ³・永野 惇³・井鷲裕司¹（¹京大・院・農；²高知県立牧野植物園；³龍谷大・農）RADseq 法を用いた日本のカシ類の系統解析
- P44 *福田拓実・渡辺洋一・上原浩一（千葉大・院・園芸）欧米、東アジア及び日本国内におけるイタドリ類の分子系統地理学的研究
- P45 *瀬尾明弘・松野倫代・前田綾子・藤川和美（高知県立牧野植物園）日本産イノコヅチ属の分子系統学的研究 2
- P46 *中屋敷 徳¹・湯浅 勲²・沢 和浩³・川上新一⁴・東 隆行⁵・出羽厚二¹（¹岩手医大・医；²鳥取大・医；³フロラ山形；⁴山形県博；⁵北大・フィールド科学セ・植物園）国産トリカブト亜属（キンポウゲ科）2 倍体植物の分子生物学的比較
- P47 *木村拓真¹・牧 雅之²（¹東北大・院・生命；²東北大・植物園）日本列島における広義エゾカワラナデシコの緯度・標高間の遺伝的変異
- P48 *高島路久¹・木下晃彦²・太田峰夫³・遊川知久²（¹栃木県立博物館；²国立科博・植物園；³遊然舎）エンシュウムヨウランの分類学的再検討
- P49 *大原隆明¹・竹本理紗²・渡邊幹男²・芹沢俊介³（¹富山県中央植物園；²愛教大・生物；³愛知みどりの会）熊本県産チョウジザクラの分類学的再検討
- P50 *勝木俊雄¹・海老原 淳²・池田 博³（¹森林総研；²科博・植物；³東大・総合博）1910 年代に荒川堤から発表されたサクラのタイプ指定の提案

- P51 *藤田淳一¹・大塚孝一² (1長野県植物研究会; 2長野県環境保全研究所) 長野県におけるミチノクヨロイグサ(ケナシミヤマシシウド)の生育確認と分類学的問題点
- P52 *岡崎純子¹・東 浩司²・池嶋美佳³・木下栄一郎⁴ (1大阪教育大・理科教育; 2京都大院・理・植物; 3金沢大・院; 4金沢大・環日研) 天然記念物「杉沢の沢スギ」(富山県入善町)にヒユウガセンキュウ(セリ科)が分布する
- P53 *芹沢俊介¹・小木曾学²・南谷明穂³・村松正雄⁴・森山昭彦² (1愛知みどりの会; 2名市大・院・システム自然科学; 3愛知教育大・生物; 4尾張旭市) 東海地方西部産シロカネソウ類の再検討
- P54 *糟谷大河¹・梅内基裕¹・小幡和男² (1千葉科学大・危機管理; 2ミュージアムパーク茨城県自然博物館) 筑波山におけるホシザキユキノシタの分布と形態的特徴の再検討
- P55 *遠藤泰彦(茨大・理) 日本産ハエドクソウ属の形態変異の解析
- P56 *栗原伸一¹・中村綾香¹・Louis Ronse De Craene²・岩元明敏¹ (1東京学芸大・自然・生命; 2エジンバラ植物園) トチカガミ(*Hydrocharis dubia*)の花発生およびシュート形成に関する形態学的研究
- P57 *布施静香¹・福田 巧²・田村 実¹ (1京都大・院・理・植物; 2京都大・理・植物) ケイビラン(クサスギカズラ科)の花の二型性について
- P58 *黒沢高秀¹・山下由美²・兼子伸吾¹ (1福島大・共生システム理工; 2福島大・院・共生システム理工) トウダイグサ属トウダイグサ亜属の系統内に見られる多回型同調的雌雄異熟性の分布
- P59 *堤 千絵¹・Titien Ng. Praptosuwiryo²・加藤雅啓¹ (1科博・植物; 2Bogor Botanic Gardens) *Pyrrosia piloselloides*は寄生植物か?
- P60 *長谷川匡弘(大阪自然史博) 屋久島高地に分布するヤクシマママコナの特異な送粉様式
- P61 *坪田博美¹・武内一恵² (1広島大・院・理・宮島; 2広島市佐伯区) 広島県で確認されたエゾハタザオ(アブラナ科)
- P62 *高橋一臣(富山県中央植物園) 富山県とその周辺におけるササ属植物の形態的変異: イブキザサ節は富山県にも分布するか?
- P63 *志内利明(富山県中央植物園) トカラ地域を分布の北限・南限とする植物
- P64 *瀧崎吉伸(豊橋市立高豊中学校) 愛知県に侵入したアフリカチゴアヤメ(新称)
- P65 *中田政司(富山県中央植物園) 植物園における外来種導入・栽培の現状と対策
- P66 *西野貴子¹・川上敬弘²・松田明莉³・阪口翔太⁴・▼石川直子⁵・伊藤元己⁵ (1大阪府大・院・理; 2大阪府大・生命環境・自然; 3大阪府大・理・生物; 4京大・院・人環; 5東大・院・総合文化) サワシロギクの生態型は土壌のNi濃度で制限されている
- P67 *▼石川直子¹・阪口翔太²・横山政昭³・福島慶太郎⁴・伊藤元己¹ (1東大・総合文化; 2京大・人環; 3堀場・分析センター; 4首都大・都市環境) 蛇紋岩植物シュンジュギクの土壌適応
- P68 田中徳久・*大西 亘・勝山輝男(神奈川県立自然史博物館) フランス国立自然史博物館(P)収蔵の神奈川県産維管束植物基準標本
- P69 石村恵美¹・西田治文²・*朝川毅守¹ (1千葉大・理; 2中央大・理工) チリ・コチヨルゲ後期白亜系産植物デブリ化石に含まれる針葉樹葉化石
- P70 *大西威慶・渡辺洋一・上原浩一(千葉大・院・園芸) 花芽形成遺伝子(*Flowering Locus T*)のイントロンを基にした汎用遺伝マーカーの開発
- P71 木戸佑子¹・竹内まどか¹・小野紘平¹・近藤将貴¹・松田 修²・森口淳樹¹・山根 渉¹・前田修宏³・萬代 功¹・*秋廣高志¹ (1島根大・生物資源; 2九州大・院・理; 3(株)T.R. Workers) 葉および茎・枝の特徴による植物種の同定を支援するデジタル情報システム iPis (plant identification system) の構築
- P72 *山路弘樹・橋本和則(ツムラ・植研編集委員会) 植物研究雑誌の100年

オプションに参加申込みされた方へ

3月5日(土) 15:00~ 富山県中央植物園

お送りする観光タクシー割引券を利用して植物園入園口前に直接お集まり下さい。当日は「蘭まつり大会」も開催されて賑わっています。職員がバックヤードや文献室など非公開部分も含めてご案内します。中央植物園 ☎ 076-466-4187 中田 ☎ 090-2372-0825

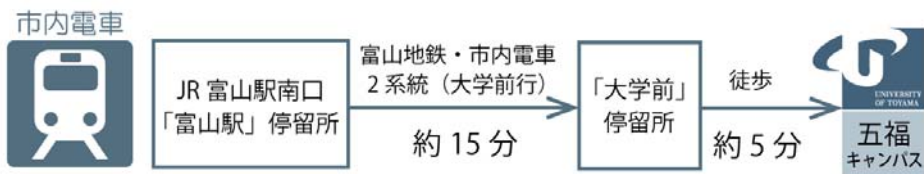
3月9日(水) 9:00~12:00 富山市科学博物館標本庫 (TOYA)

バスが便利です(富山駅前から富山地鉄バス 5番乗り場、辰尾団地・国際大学・笹津・富山高専系に乗車、約8分で「西中野口」下車、正面)。受付で標本閲覧に来られた旨をお伝えください。オプション時間以外にも閲覧を希望される場合は、太田道人まで直接ご連絡ください。Eメール ohta@tsm.toyama.toyama.jp 富山市科学博物館 ☎ 076-491-2125

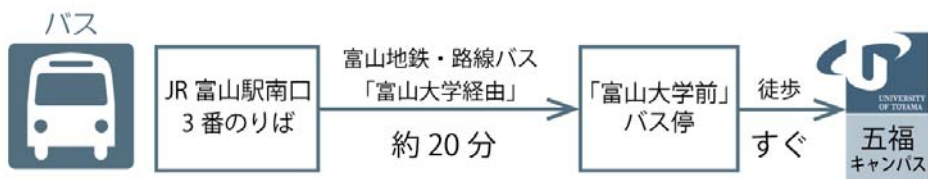
富山大学五福キャンパスまでのアクセス



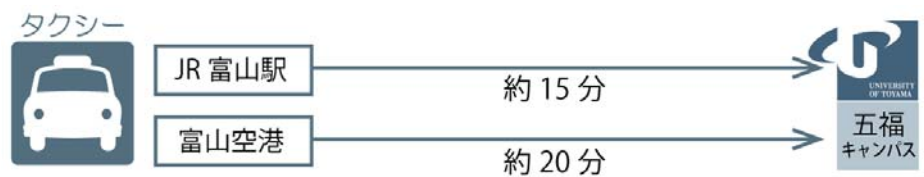
車でのご来場について
 北陸自動車道「富山西 IC」から約 10 分、「富山 IC」から約 20 分ですが、五福キャンパス内の外来専用駐車場が手狭のため、自家用車でのご来場はできるだけご遠慮ください。
満車で学内に駐車できない
事があります。



JR 富山駅から約 20 分：
 JR 富山駅前「富山駅」停留所にて 2 系統（大学前行）に乗車約 15 分→「大学前」停留所下車 徒歩約 5 分



JR 富山駅から約 20 分：
 JR 富山駅南口バスターミナル 3 番のりばにて富山地铁・路線バス「富山大学前経由」に乗車約 20 分→「富山大学前」バス停下車すぐ



JR 富山駅から約 15 分
 富山空港から約 20 分

大会に参加される方へ

全般

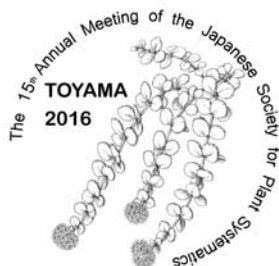
1. 大学までは市電が便利です。9 頁のアクセス案内、4 頁のキャンパス案内図をご参照下さい。大学内にはほとんど駐車スペースがありませんので、お車での来場はできるだけご遠慮下さい。
2. キャンパス内は全面禁煙です。
3. 3月8日(火)は前期日程入試の合格発表があります。
4. キャンパス内には生協食堂、オープンカフェ AZAMI がありますが(4 頁参照)、3月6日(日)は営業しておりません。また、7日(月)、8日(火)は春休みのため11時00分から13時30分までの短縮営業になります。
5. 3月6日の弁当を予約した方は、11時より受付で引換券と交換でお受け取り下さい。当日販売は致しません。大学周辺の飲食店やコンビニエンスストアについては、当日配布のチラシをご覧ください。
6. 会場内では、常に名札を着用して下さい。
7. クロークは、3月6日、7日は8時30分～17時10分、8日は8時30分～14時40分までご利用いただけます。貴重品はお預かりできません。
8. 本大会では、託児室やキッズコーナーは設けません。
9. 本大会準備委員会では、講演(口頭発表及びポスター発表)を、参加者が撮影・記録することによって生じうる、著作権や肖像権に関する法律上の問題について関知いたしません。
10. お酒の差し入れを歓迎いたします。当日ご持参の場合は、受付または大会本部にお渡し下さい。

口頭発表

1. **発表時間は、講演、質疑応答を合わせて14分です。終了時間の4分前に1鈴、2分前に2鈴、終了時に3鈴を鳴らします。**発表中に3鈴がなった場合は速やかに発表を中断し、次の発表者と交代して下さい。
2. 液晶プロジェクターを使用しますが、発表用パソコンは原則各自でご用意いただき、操作もご自分で行って下さい。ご都合が悪い場合は、前もって準備委員会にご相談下さい。プロジェクターとの接続ケーブル(D-Sub15ピン、ミニ)が対応していない方は、各自で変換アダプターをご用意ください。
3. ロビーに試写コーナーを設けますので、動作確認をお願いいたします。
4. 万一のパソコンのトラブルに備えて、**発表用ファイルの入ったUSBメモリ**をご持参下さい。
5. 会場の黒田講堂はシアター型ホールで机がありません。あらかじめご承知おき下さい。

ポスター発表

1. 発表賞エントリーは黒田講堂のロビー、一般発表は黒田講堂北隣の災害対策プラザ2階が展示場所になります。
2. ポスター用ボードの有効サイズは幅90cm×縦180cmで、A0サイズに対応します。
3. 押しピン等は準備してありますので、3月6日13時までに指定の場所に貼り終えて下さい。また、8日13時までには、撤去を終えて下さい。
4. ポスター発表時間は、3月6日13時～14時20分です。この間、発表者はポスターの前で質疑応答に対応して下さい。プログラム上、発表時間が短いため、個別の質疑応答は7日、8日の昼休みなどをご利用下さい。



日本植物分類学会第15回大会(富山大会)および公開シンポジウム 事前配布プログラム

作成日：2016年2月18日

改訂日：2016年2月24日 (当日、内容が変更されることがあります)

日本植物分類学会第15回大会準備委員会 中田政司

〒939-2713 富山市婦中町上轡田42 富山県中央植物園

TEL：076-466-4187 FAX：076-465-5923

E-mail：bunrui@bgty.org

<http://www.bgty.org/bunruigakkai/15thbunruigakkai/01top.html>
